

イオンモール岡崎

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

店舗利用者の利便性を図るため、駐車場の出入口の数の変更を行う(法第6条第2項)

2 届出の内容

届出年月日	平成20年8月29日			
店舗	店舗名称	イオンモール岡崎		
	店舗所在地	愛知県岡崎市戸崎町字38-5外36筆		
設置者	名称	日清紡績株式会社		
	代表者	代表取締役 指田 禎一		
	住所	東京都中央区日本橋2-31-11		
	備考	ほか1名		
小売業者	名称	イオン株式会社		
	代表者	岡田 元也		
	住所	千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1		
	備考	ほか51名		
		変更前	変更後	
店舗面積		65,285 m ²	59,558 m ²	
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおり	別紙図面のとおり
		台数	3412 台	3982 台
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり	変更前に同じ
		台数	973 台	同
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおり	同
		面積	627.32 m ²	同
	廃棄物 保管施設	位置	別紙図面のとおり	同
		容量	603.08 m ³	同
施設の運営	営業時間	開店	午前9時(一部午前10時(年間180日午前9時))	同
		閉店	午後11時(一部午後10時)	同
	駐車場利用時間帯		午前8時00分から午後11時30分まで(一部午後10時まで)	同
	駐車場出入口	数	7箇所	9箇所
		位置	別紙図面のとおり	別紙図面のとおり
	荷捌時間帯		午前4時00分から午後8時まで	変更前に同じ
変更する理由	店舗利用者の利便性の向上を図るため			
変更する日	平成20年11月26日			

3 参考事項

敷地面積	106,834 m ²		
建築面積	54,673 m ²		
延床面積	233,227 m ²		
業態	総合店		
用途地域	工業地域	—	—
備考	平成13年3月30日 法附則第5条第1項届出(営業時間の変更) 平成13年8月10日 法第6条第1項届出(設置者の名称の変更) 平成15年7月16日 法第6条第1項届出(小売業を行うものの名称及び代表者の氏名の変更) 平成19年10月4日 法第6条第1項届出(建物設置者代表者の変更及び大規模小売店舗の名称変更)		

イオンモール岡崎

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	都市計画及び中心市街地活性化基本計画等について情報収集し、検討する
(2) 深夜営業の対応	物販店舗の深夜営業を行わない。また、シネコンの営業は24時までとする。
(3) 住民説明会の開催	地域住民等の理解が十分得られるよう説明・周知
(4) テナントの履行確保	設置者と小売業者が同一のため不要
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命
(6) 予測乖離時の措置	必要に応じて再調査・再対策を検討の上、対応措置を実施する。
(7) 通年の臨時措置	休日・祝祭日および年末年始等の繁忙期には交通整理員を配置
(8) 開店時の臨時措置	交通整理員を配置

5 施設の配置及び運営方法に関する事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

ア 駐車場の必要台数の確保

(ア) 小売店舗の必要駐車台数

a 指針による算出

<既存店舗面積の必要駐車台数>

行政人口	店舗面積	日來客数 原単位 (人/千㎡)	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域 の場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車 時間係数	必要駐車台数
376,266人	51,736 ㎡	950	14.40%	1,500 m	70.00%	2.50 人	1.75	3,468 台

<リニューアル後の店舗面積の必要駐車台数>

行政人口	店舗面積	日來客数 原単位 (人/千㎡)	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域 の場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車 時間係数	必要駐車台数
376,266人	59,558 ㎡	950	14.40%	1,500 m	70.00%	2.50 人	1.75	3,992 台

<物販店舗の必要駐車台数>

現況設置台数	3412台	A
既存店舗の必要駐車台数	3468台	B
リニューアル後面積による必要駐車台数	3992台	C
リニューアル後物販店舗の必要駐車台数	3936台	A+(C-B)

総駐車台数	-	従業員等駐車台数	-	業務用駐車台数	-	搬出入用駐車台数	-	併設施設駐車台数	=	来客用駐車台数	評価
4,200 台		0台		0台		0台		218台		3,982 台	○

b 指針によらない「特別な事情」による算出

特別な事情による算出を行う場合は、aの表をコピーし入力してください。

(イ) 小売店舗に併設施設を含めた必要駐車台数

a 指針の参考式による算出

併設施設 の面積	併設施設の割合 (併設施設面積/店舗面積)	必要駐車台数
11,497 ㎡	19.3%	3,936 台

イオンモール岡崎

実績による算出(シネコン)

区分 時間帯	既存店(東浦)調査データ				イオンモール岡崎想定								
	来場 (人)	構成比 (%)	退場 (人)	構成比 (%)	来場 (人)	退場 (人)	自動車 分担率 (%)	平均 乗車数 (人)	来場 (台)	退場 (台)	滞留 (台)		
8~9	377	4.6	131	1.6	314	109	82.5	2.6	99	34	65		
9~10	738	9	402	4.9	615	335			194	106	153		
10~11	885	10.8	689	8.4	738	574			233	181	205		
11~12	763	9.3	713	8.7	635	594			200	187	218		
12~13	836	10.2	894	10.9	697	744			220	235	203		
13~14	746	9.1	836	10.2	621	697			196	220	179		
14~15	460	5.6	525	6.4	382	437			120	138	161		
15~16	739	9	533	6.5	615	444			194	140	215		
16~17	828	10.1	836	10.2	690	697			218	220	213		
17~18	484	5.9	533	6.5	403	444			127	140	200		
18~19	197	2.4	377	4.6	164	314			52	99	153		
19~20	582	7.1	640	7.8	485	533			153	168	138		
20~21	459	5.6	369	4.5	382	307			120	97	161		
21~22	98	1.2	123	1.5	82	102			26	32	155		
22~23	7	0.1	262	3.2	6	219			2	69	88		
23~0	0	0	336	4.1	0	280			0	88	0		
0~1	0	0	0	0	0	0			0	0	0		
合計	8,199	100	8,199	100	6,829	6,829			-	-	2,154	2,154	-
座席数	1,801				1,500				ピーク交通量等		233	235	218
商圏人口	東浦町		801,116人		岡崎市				585,135人				
競合	0				1								

総駐車場台数	-	従業員等駐車場台数	-	業務用駐車場台数	-	搬出入用駐車場台数	=	来客用駐車場台数	評価
218台		0台		0台		0台		218台	○

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オペレーター:無	2平面自走オペレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
6箇所	0箇所	0箇所	0箇所	2,281台

ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

建物 東側 駐車場	種別	1	収容台数	770台	歩行者動線	分離	騒音配慮	あり	排ガス配慮	アイドリングストップ	
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	評価
東	1箇所	県道	30m	あり	347m	34m	予測なし	中央分離帯	左折のみ	あり	-
西	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	1箇所	県道	30m	あり	56m	49m	予測なし	双方向	左折のみ	あり	-

交通整理員等の配置: 毎日配備するが、営業時間のうち混雑時間のみ配備

建物 西側 駐車場	種別	1	収容台数	1,900台	歩行者動線	分離	騒音配慮	あり	排ガス配慮	アイドリングストップ	
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	評価
東	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西	1箇所	市町村道	6m	あり	323m	74m	予測なし	双方向	右左折混合	あり	-
南	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

交通整理員等の配置: 毎日配備するが、営業時間のうち混雑時間のみ配備

建物 南側 駐車場	種別	1	収容台数	742台	歩行者動線	分離	騒音配慮	あり	排ガス配慮	アイドリングストップ	
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	評価
東	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	2箇所	市町村道	7m	あり	126m	10m	予測なし	双方向	右左折混合	あり	-
北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

交通整理員等の配置: 毎日配備するが、営業時間のうち混雑時間のみ配備

駅前 立体 駐車場	種別	1	収容台数	788台	歩行者動線	分離	騒音配慮	あり	排ガス配慮	アイドリングストップ	
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	評価
東	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西	2箇所	市町村道	18m	あり	292m	115m	予測なし	双方向	右左折混合	あり	-
南	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

交通整理員等の配置: 毎日配備するが、営業時間のうち混雑時間のみ配備

イオンモール岡崎

	駐車場の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
評価	○	○	○	○	○

エ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
実施	実施	実施	実施(交通飽和度等の検討)

(ア) 交通飽和度の検討

項 目	休 日			平 日		
	現 況	開店後	評 価	現 況	開店後	評 価
No.1三崎町東 交差点	需要率(飽和度)	0.340	0.391	○	—	—
	将来交通量/可能交通容量	0.795	0.959	○	—	—
	ピーク時間帯	15時~16時			—	

項 目	休 日			平 日		
	現 況	開店後	評 価	現 況	開店後	評 価
No.2警察署前 交差点	需要率(飽和度)	0.474	0.536	○	—	—
	将来交通量/可能交通容量	0.891	0.930	○	—	—
	ピーク時間帯	15時~16時			—	

項 目	休 日			平 日		
	現 況	開店後	評 価	現 況	開店後	評 価
No.3裁判所西 交差点	需要率(飽和度)	0.461	0.451	○	—	—
	将来交通量/可能交通容量	0.810	0.820	○	—	—
	ピーク時間帯	15時~16時			—	

項 目	休 日			平 日		
	現 況	開店後	評 価	現 況	開店後	評 価
No.4岡崎商工 会議所西交差 点	需要率(飽和度)	0.650	0.736	○	—	—
	将来交通量/可能交通容量	0.869	0.986	○	—	—
	ピーク時間帯	14時~15時			—	

項 目	休 日			平 日		
	現 況	開店後	評 価	現 況	開店後	評 価
No.5原山交差 点	需要率(飽和度)	0.431	0.531	○	—	—
	将来交通量/可能交通容量	0.709	0.971	○	—	—
	ピーク時間帯	13時~14時			—	

項 目	休 日			平 日		
	現 況	開店後	評 価	現 況	開店後	評 価
No.6戸崎町交 差点	需要率(飽和度)	0.721	0.820	○	—	—
	将来交通量/可能交通容量	0.933	0.991	○	—	—
	ピーク時間帯	11時~12時			—	

項 目	休 日			平 日		
	現 況	開店後	評 価	現 況	開店後	評 価
No.7羽根ガード 東交差点	需要率(飽和度)	0.848	0.933	×	—	—
	将来交通量/可能交通容量	1.116	1.173	×	—	—
	ピーク時間帯	11時~12時			—	

項 目	休 日			平 日		
	現 況	開店後	評 価	現 況	開店後	評 価
No.8戸崎新町 交差点	需要率(飽和度)	0.429	0.464	○	—	—
	将来交通量/可能交通容量	0.599	0.642	○	—	—
	ピーク時間帯	16時~17時			—	

項 目	休 日			平 日		
	現 況	開店後	評 価	現 況	開店後	評 価
No.9戸崎新町 北交差点	需要率(飽和度)	0.535	0.589	○	—	—
	将来交通量/可能交通容量	0.580	0.553	○	—	—
	ピーク時間帯	16時~17時			—	

※周辺道路の混雑を回避するための対策等

No.7羽根ガード東交差点について、アクセスルートの見直しを行った。

イオンモール岡崎

オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	店舗周辺に6箇所設置
駐輪場の収容台数	973 台
標準収容台数	1,702 台
収容台数根拠	

位置評価	台数評価
○	△

カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	確保	収容台数	—
位置及び箇所			

位置評価	台数評価
○	△

キ 荷捌施設の整備等

(ア) 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	隔離	627.32㎡	あり	10分	12台	4台	○

(イ) 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
10:00~11:00	4台	7:00~8:00	11:00~12:00	あり	なし	○

ク 経路の設定等

(ア) 車両関係

a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置	チラシ配布	回避	回避	回避	あり

b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
なし	なし	配備

※非配備の場合等の対応

c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保	確保
--------	----

d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力	協力なし
------------------	------

評価	○
----	---

(イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	配慮あり

評価	○
----	---

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価	○
----	---

(エ) 防災・防犯対策への協力

a 防災への協力

非難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結済	締結済	特になし

b 防犯への協力

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
配慮あり	あり	特になし

評価	○
----	---

イオンモール岡崎

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

ア 騒音問題対応策

(ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	30 m	なし	廃棄物収集作業	なし	あり	-
西方向	32 m	なし	廃棄物収集作業	2.4m	あり	-
南方向	なし	78 m	廃棄物収集作業	なし	あり	-
北方向	32 m	なし	廃棄物収集作業	なし	あり	-

遮音壁の影響	特になし
--------	------

(イ) 営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	なし
荷捌施設建築計画面での配慮	道路面に遮音壁を設置・荷捌き施設の内側に吸音材の設置
荷捌作業運営面での配慮	搬出入を計画的に管理し、荷捌き作業を効率的に行う。アイドリングストップの徹底
放送設備使用面での配慮	屋外へのスピーカーの設置は行わない

(ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	低騒音型機器の採用、防振架台の設置と必要に応じた遮音壁の設置を行う。
給排気口等からの騒音配慮	吹き出し・吸い込み口を騒音の発生しにくい形状にし、低騒音型機器を導入する。
駐車場からの騒音配慮	掲示等によりアイドリングストップ・空ぶかし・走行方法等に注意を促す。
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	早朝・深夜の作業を行わない。
経年劣化等の事後対策	定期的に設備機器の点検を行う。

(エ) 併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	騒音発生のもととなるような設備等は設置しないよう注意を促す。
運営面の騒音配慮	従業員、来客者に対して、騒音発生の抑制について、指導の徹底を行う。

イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	空調機		ファン類		冷却機		ポンプ類		キュービクル	
		173		148		11		12		○	
変動騒音	自動車走行	○		台車走行	○						
	廃棄物作業	○		荷捌き作業	○						
衝撃騒音	廃棄物作業	○		荷捌き作業	○						
建物の構造(高さ)		鉄骨造(最高高22.0m)									

(ア) 等価騒音レベル予測

		北(A)	東(B)	南(C)	西(D)
用途地域		工業地域	第1種住居地域	第1種住居地域	工業地域
昼間基準値		60 dB	55 dB	55 dB	60 dB
夜間基準値		50 dB	45 dB	45 dB	50 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	58.1 dB	54.9 dB	53.8 dB	56.6 dB
	評価	○	○	○	○
	夜間等価騒音レベル	49.7 dB	44.7 dB	44.7 dB	47.6 dB
	評価	○	○	○	○
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当

		西(E)	西(F)	北(G)
用途地域		工業地域	工業地域	工業地域
昼間基準値		60 dB	60 dB	60 dB
夜間基準値		50 dB	50 dB	50 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	56.3 dB	55.2 dB	55.6 dB
	評価	○	○	○
	夜間等価騒音レベル	49.3 dB	50.0 dB	49.7 dB
	評価	○	○	○
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当

※基準値を超えた場合の対応等

--

イオンモール岡崎

(イ)夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無					有
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か					
上記A・Bの具体的内容 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有する					
		北(a)	東(b)	南(c)	西(d)
	用途地域	工業地域	工業地域	工業地域	工業地域
	基準値を5dB減ずる要因	なし	あり	あり	なし
	基準値	60dB	55dB	55dB	60dB
設置者	定常騒音の騒音レベル	39.4dB	37.7dB	42.1dB	33.3dB
	評価	○	○	○	○
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	61.4dB	52.6dB	52.9dB	49.7dB
県	評価	△	○	○	○
	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当	妥当	妥当	妥当

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無					有
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か					
上記A・Bの具体的内容 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有する					
		西(e)	西(f)	北(g)	
	用途地域	工業地域	工業地域	工業地域	
	基準値を5dB減ずる要因	なし	なし	なし	
	基準値	60dB	60dB	60dB	
設置者	定常騒音の騒音レベル	51.7dB	47.6dB	42.8dB	
	評価	○	○	○	
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	53.8dB	60.2dB	48.9dB	
県	評価	○	△	○	
	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当	妥当	妥当	

※基準値を超えた場合の対応等

予測値点a及びfについては、民地付近の予測地点A、Fにおいて予測したところ、A 60.0dB(基準値60dB)、F 45.7dB(基準値50dB)となり規制基準値を超過しない。

(2) 廃棄物関係

ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	悪臭の発生元となる生ゴミ保管施設の出入口については、密閉性が確保できるドアをつ
衛生問題関係配慮	敵的に廃棄物等保管施設を清掃する。

(ア)小売店舗の必要保管容量

a 指針に分類される廃棄物等

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	178.27 m ³	1日	1.900 t	0.10 t/m ³	19.00 m ³	変更なし	○
金属製廃棄物用	19.67 m ³	1日	0.220 t	0.10 t/m ³	2.20 m ³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用	13.89 m ³	1日	0.155 t	0.10 t/m ³	1.55 m ³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用	272.35 m ³	1日	0.298 t	0.01 t/m ³	29.79 m ³	変更なし	○
生ごみ用	36.79 m ³	1日	2.200 t	0.55 t/m ³	4.00 m ³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用	82.12 m ³	1日	3.525 t	0.38 t/m ³	9.28 m ³	変更なし	○
合計	603.09 m ³	-	-	-	65.81 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

b その他の廃棄物等

取扱品目	保管容量	必要保管容量	評価
廃家電用	-	-	○
粗大ごみ用	-	-	○
合計	0m ³	0.00 m ³	○

イオンモール岡崎

(イ)小売店舗以外の施設の必要保管容量

a 飲食店の廃棄物等(廃棄物等の保管場所が小売店舗と同一の場合)

取扱品目	飲食店の面積	飲食店の保管容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更
生ごみ等用	1,519 m ²	36.79 m ³	1日	303.8 kg	550 kg/m ³	0.55 m ³	変更なし
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	なし						
指針と異なる算定式の使用	なし						

b 小売店舗以外の施設の廃棄物等(廃棄物等の保管場所が小売店舗と同一の場合)

取扱品目	届出容量	小売店舗以外の必要保管容量	施設全体の必要保管容量	評価
紙廃棄物用	178.27 m ³	1.54 m ³	20.54 m ³	○
金属製廃棄物用	19.67 m ³	0.42 m ³	2.62 m ³	○
ガラス製廃棄物用	13.89 m ³	0.28 m ³	1.83 m ³	○
プラスチック製廃棄物用	272.35 m ³	4.21 m ³	34.00 m ³	○
生ごみ用	36.79 m ³	0.51 m ³	4.51 m ³	○
その他可燃性廃棄物用	82.12 m ³	1.99 m ³	11.27 m ³	○
合計	603.09 m ³	8.95 m ³	74.76 m ³	○

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	あり
生ゴミ堆肥化施設の使用	あり	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	あり
廃棄物等圧縮機の使用	あり	食品加工場の設置	あり
脱水装置の使用	あり	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし
その他	なし	その他	なし

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施	廃棄物等保管施設内で場所を区切り廃棄物とリサイクル品目を分けて保管している。缶、瓶、段ボール、廃食油、紙類、生ゴミ等、14項目に分別を行っている。
	搬出作業の利便性の確保	排出された廃棄物等を圧縮軽量化等を行い、搬出作業の利便性を確保している。
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	廃棄物等保管施設には遮音壁を設置。早朝、深夜の作業を禁止している。
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	あり
	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	あり

イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	生ゴミは、毎日専門業者による搬出を行う等、廃棄物の項目ごとに適正な搬送頻度を確保している。
繁忙期の特別な措置	
運搬(予定)業者(免許番号)	タツキ興業、中川油脂、朋英社、福田三商
運搬業者・処理業者に対する情報提供	
敷地内処理の配慮	アルミ缶、牛乳パック・古紙等、100%リサイクルを行い商品化を行っている。
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	排気口の向き、位置に配慮。清潔さを保つことにより、悪臭が発生しないように従業員による清掃実施を徹底。また、生ゴミが発生したら、迅速に生ゴミ庫に移動。
併設施設からの悪臭防止対策	共用の廃棄物等保管施設のため、記載は省略。

評価
○

(3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 「イオンふるさとの森づくり」を今後も継続し、まちなかに緑を創出する。 高齢者・身障者の皆様に十分に配慮する。 都市的な雰囲気を感じさせる景観を目指し、街の顔づくりにつとめる。
市町村等の公的計画への協力	「岡崎市公害防止条例」に基づき、環境配慮に取り組む。
照明等の配慮	<ul style="list-style-type: none"> 店舗壁面に向けて設置。 広告塔照明については既存の住宅に支障のない照度を保つ。 午後5時から午後10時15分までの点灯時間とする。
敷地内の緑地計画	

評価
○

イオンモール岡崎

出店地連絡会議の意見概要	対応
<p>1 オープン時及びその後の交通渋滞と車両の誘導対策について、実効性のある対応をお願いしたい。</p> <p>2 テナントを含めた店舗全体において、ソフト・ハード両面にわたる適切な防犯対策を講じていただきたい。</p>	<p>1 開業時については、誘導警備に関する基本計画を作成し、交通整理員に内容を周知徹底して当該施設の誘導警備に努めました。</p> <p>開業後の特別繁忙時(11/27～12/7)においては、基本計画の内容を変更することなく交通誘導警備を実施し、若干の「入庫待ち」は生じたものの、「入庫制限」実施までには至らず、大きな混乱もありませんでした。</p> <p>この特別繁忙時の状況を踏まえ、通常営業期の誘導員配置計画を策定して現在営業を行っておりますが、駐車場出入口の新設(シネマ棟)による来店車両の分散効果も表れ、大きな混乱はないと考えております。</p> <p>また、その他の開業時対策として、開業販促チラシ(新聞折込・電車内中吊り広告)などへ「イオンモール岡崎へはバスが便利(系統・乗降場明記)」との掲示を行ってエコアクセスキャンペーンを実施し、公共交通の利用促進を図りました。</p> <p>なお、4月下旬から利用者数の多い昼間は1時間3本を4本へ増便することとしました。</p> <p>ソフト面としては、新規に出店するテナント及び従業員には「従業員ルールブック」に基づき講習会を開催し、指導徹底しております。</p> <p>その他、全館防災訓練の実施、警備員の24時間店内外巡回、従業員の巡回のほか、警察の「青少年喫煙禁止キャンペーン」、「家出防止キャンペーン」、「青少年健全育成県民運動」、「虐待防止キャンペーン」等への協力や、市内小中学校生活指導担当教諭へ少年街頭補導研修を行うなど、様々な面から地域防犯対策を講じております。</p> <p>また、ハード面では当該施設内防災センターにて24時間有人で報知器監視、防犯カメラの監視を行っております。</p>
市町村の意見概要	対応
<p>渋滞を回避するとともに、交通事故防止に配慮して適切な誘導員、交通整理員を配置すること。</p>	<p>場内のみならず周辺の交通状況を監視し、渋滞発生回避に努めるとともに、車両の交錯、歩行者・車両等の交錯する箇所には適切に交通整理員を配置し、交通事故発生防止に努めます。</p>
住民等の意見の概要	対応
<p>意見なし</p>	<p style="text-align: center;">—</p>
県の意見案	
<p>意見なし</p>	
県の意見に至る考え方	
<p>出店地連絡会議及び市町村の意見に対する設置者の対応は、概ね妥当なものと考えられる。</p>	